

ダム見学：高知短期大学 地域経済研究会

10月24日（土）に高知短期大学から地域経済研究会のメンバー31名が、ダム見学に訪れました。

【見学場所】

- ① ダム管理所 2階会議室・・・ビデオ鑑賞
- ② ダム管理所 4階操作室・・・放流操作設備等の説明
- ③ ダム堤体内 地下2階・・・監査廊、コンジットゲート現地見学

見学 1

ビデオ鑑賞によるダムの役割、職員によるダムの概要説明を行いました。



見学 2

次に4階にある操作室に移動し、放流設備の機械等の説明を行いました。



実際にダムを操作する機械の説明
・遠方操作卓

普段、目にする機会のないゲート等の操作
装置の説明を行いました。



下流河川の警戒周知を行う機械の説明

- ・ 警報起動操作卓
- ・ CCTV カメラ
- ・ 情報表示板

ダム管理所4階から、ダムと貯水池を展望。

多くの質問をいただきました。

・ クレストゲートは使用したことがあるのでしょうか？

→ありません。

・ 発電取水塔から水はどこへ流れているのでしょうか？

→大漕ダム下流の大漕発電所放水口から仁淀川に戻っています。

見学 3

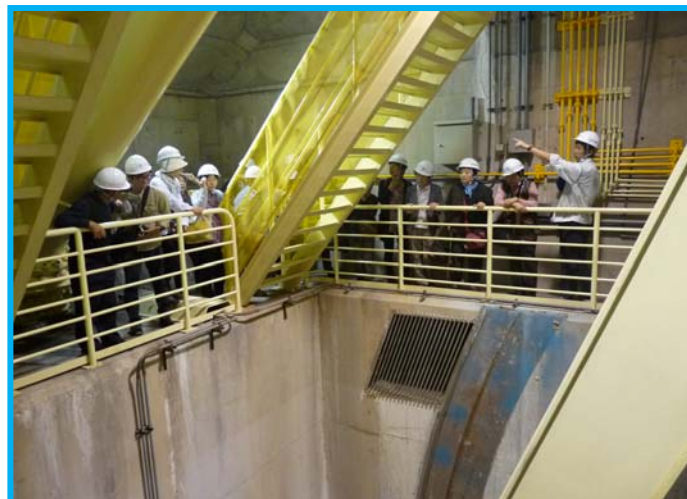
ダム堤体内への入り口であるエレベータに向かう途中にも、頭上を覆うガントリークレーン（点検用ゲートの搬送用設備）や、左側に見られる選択取水設備の説明を行いました。



エレベータにて地下2階（ダム頂上から約40m下）のダム内部へ移動し、ゲートの機側装置やコンジットゲートの説明を行いました。

実物のゲートを見ると、想像以上の大きさに驚きの声が湧き上がりました。ここでも多くの質問をいただきました。

- ・コンジットゲートの重さはどれくらいなの
でしょうか？
→約90トンです。
- ・年間でゲートはどれくらい動くのでしょうか？
→年によって違いますが、今年度は10回です



見学後、『ダム内部に実際に入ることができるとは思わなかった。』『ダムの働きについて、詳しく知ることができて勉強になった。』などの感想があり、今回の見学によりダムへの理解を深めていただく良い機会になったのではないかと思います。

【最後に】

ダムを見学したい方は、是非お越しください。見学のご連絡お待ちしております。
(なお、原則平日の9：00～17：00の見学とさせていただきます。)